

創立146周年

学校便り

令和4年度

No.11



# 進取

令和5年3月22日発行

阿久根市立阿久根小学校  
29学級 児童数434人

## みんなの笑顔のために

校長 深川 光久

令和4年度もいよいよ終わりが近づきました。今年も新型コロナウイルス感染症対策を取りながらの1年となりました。保護者の皆様におかれましては、毎日の検温から行事での対策などご理解とご協力をくださり有り難うございました。おかげさまで、大きな事故もなく子供たちは元気にこの1年間を過ごし、それぞれに成長してくれました。

3月13日（月）朝、いつもより少し遅れて私は出勤してきました。急いで職員室のある管理棟に向かっていると、「おはようございます。」という元気な挨拶の声が校門から次々に聞こえてきました。自分たちから元気な声で挨拶をしてくれたのです。令和3年4月本校に赴任してからの1週間、こちらから挨拶をしても挨拶を返してくれる子供はわずかでした。この子供たちの挨拶で、この日の朝はとても幸せな気持ちになり、私も大きな声で挨拶を返しました。

3月3日（金）の一日遠足の日、天気にも恵まれ素晴らしい遠足日和でした。私は、子供たちにこれまで「みんなの笑顔のためにできることをやってみよう。」と語り続けてきました。校長としては、子供たちが自由に過ごせる時間が長いこの日に、みんな仲良く過ごせるだろうか。大きな怪我もなく一日を過ごせるだろうかとうことをずっと考えていました。職員にも「誰もが一人ぼっちになることもなく、楽しい日になるように子供たちに事前から考えさせることが大事である。」と話してきました。

私も午前中遠足に参加し、各学年の子供たちの様子を見て回りました。時間が経過しても子供たちの楽しそうな笑顔はずっと続いていました。それぞれが友達と楽しそうに過ごしていました。その笑顔を見ながら、充実した幸せな時間を子供たちにももらいました。もしかしたら、小さなけんかは私の見てないところで起きていたかもしれません。でも、学校に帰ってきた子供たちは少し遊び疲れて、楽しかったと聞くと、「楽しかった。」と返してくれました。みんな笑顔の一日がくれたことが何よりうれしかったです。

434人の子供たちが過ごしているとけんかになったり、嫌な気持ちになったりすることはあります。その時々子供たちに、自分の言動を振り返らせ、考えさせることが大切です。その時々自分の言動や友達の言動を見ながら、よりよい人間関係をつくることを学んでいきます。そして、子供たちがいい学級をつくっていく当事者として、「みんなの笑顔」をつくるために学級に関わっていくことが居心地の良い学級づくりにつながっていきます。その過程において、保護者の皆様にご心配をかけることもあったことと思います。これからは何か子供たちの友達関係などで心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。担任と協力しながら、子供たちが上手に友達関係を築ける力を育てたり、よりよい学級づくりのサポートをしていただければ有り難いです。

新型コロナウイルス感染症への対応が徐々に緩和され、元通りの教育活動ができそうな雰囲気になってきました。次年度、また阿久根小学校では職員一同、子供たちとともに子供たちの笑顔がたくさん見られるようにしていけたらと思います。